

国際交流

2012年度中国研修を実施しました

2013年3月15～22日、中国研修を実施し、看護学部およびリハビリテーション学部から計14名の学生が参加しました。この研修は、本学交流協定締結校である第三軍医大学(重慶市)を訪問し、講義や附属病院の見学等を通して中国の保健医療福祉について学び、日本との共通点・相違点について考えるプログラムです。今回の研修では、学生交流の一環として同大学の学生と一緒に英語の授業を受講し、英語でのゲームにも挑戦しました。本学の学生達は英語の難しさに苦戦しつつも、いつもと異なる授業の雰囲気を楽しめることができました。次回の研修は2015年3月に予定しています。

※本研修は日本学生支援機構留学生交流支援制度採択プログラムです。参加者には同機構から奨学金が支給されました。



第三軍医大学附属西南医院にて



帰国前夜、経由地の上海にて

サミュエルメリット大学(米国カリフォルニア州)研究者による特別講義を行いました

2013年3月19日、サミュエルメリット大学ファミリーナースプラクティショナープログラムのディレクターであるラミス博士をお招きし、本学教職員、大学院生、周辺施設看護職の方を対象に、現在日本でも関心が高いナースプラクティショナー(NP)について、特別講義を行っていただきました。NP先進国であるアメリカの専門家から、アメリカのNPの役割や現状について直接学べる貴重な機会となりました。

※[NP]…大学院を修了し、高度実践看護師として患者・家族に関わるだけでなく、限定された薬剤の処方や検査の指示、治療行為が認められた看護師のこと。日本ではまだ制度化されていません。



特別講義の様子

サミュエルメリット大学

サンフランシスコ郊外オークランドに位置する1909年創立のヘルスサイエンス系大学です。看護学部をはじめ作業療法学、理学療法学等のコースも併せ持ち、本学とは2011年から教職員間の交流を続けています。

学友会

GAKUYUKAI

学友会会長

川邊 咲子

(社会福祉学部
こども教育福祉学科
2年次生)

今年度の学友会は“学生と学友会の結束”と“充実した学生生活”を目標に活動していきたいと考えています。昨年度までの学友会の活動を振り返り、今年度は、学生の皆さんに学友会の存在をより伝えることができるように、皆さんと様々なイベント等を通して繋がり、学生生活・サークル・イベント等において、沢山の意見をいただき、反映していけたらと考えています。

皆さんがより良い学生生活を送ることができるよう、学友会一同精一杯努めさせていただきますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。



会長の川邊さん(左)と副会長の村木くん(右)

2013年度学友会役員[任期:2014年3月31日まで]

	氏名	所属	氏名	所属
会長	川邊 咲子	社福2	広 報	牧野 葵
副会長	村木 隆彦	看護2	主 務	横尾 華稀
会計長	大河原 健伍	リハ2	主 務	河合 美樹
会計	松本 紗枝	看護2	主 務	山田 彩乃
会計	片瀬 佑記	リハ2	聖灯祭実行委員長	笹田 教太郎
サークル長	鈴木 雄大	社福2	聖灯祭実行委員長	萩原 愛
サークル	守下 雄一朗	リハ2		
サークル	塚本 雅也	リハ2		
広 報	比奈地 晃子	リハ2		

※所属欄の「2」は学年、「看護」は看護学部、「社福」は社会福祉学部、「リハ」はリハビリテーション学部

2013年度 学友会関連行事

- 4月3日[水] 新入生歓迎会
- 6月5日[水] 定例総会
- 9月25日[水] 9月卒業式(記念品贈呈)
- 10月19日[土] 球技大会
- 11月2日[土] 聖灯祭
- 12月18日[水] クリスマス祝会
- 3月10日[月] 卒業式(記念品贈呈)・卒業パーティ(大学・学友会・後援会・同窓会共催)

学 報

SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY REPORT

2013.7
Vol. 41



Contents

- より充実した学生生活の支援を目指して... P1
- 特集:新校舎5号館..... P2-4
- 聖書のことば..... P4
- 就職支援..... P5-6
- クリストファーニュース/
保健福祉実践開発研究センター.... P7-8
- 新任教員の紹介..... P9
- 後援会..... P10
- 聖隷学園だより..... P11-12
- 私の教育・研究..... P13
- お知らせ..... P14
- 国際交流/学友会..... 裏表紙



保健医療福祉の総合大学

聖隷クリストファー大学

4月5日、
新入生セミナーの様子

より充実した 学生生活の 支援を目指して

新校舎5号館の使用開始をはじめ、
2013年4月からは、
様々な施設設備を新設・移転・拡張しました。
その一部をご紹介します。



A 1号館1階に新設 スチューデントプラザ

学生の皆さんがひとつのオフィスで用件を済ませることが出来るよう、これまで別々の校舎にオフィスを設けていた学生サービスセンター、就職センター、国際交流センター、電算センターが「スチューデントプラザ」として1か所に集まりました。学生の皆さんの要望に適切な部署がより早く確実に対応することにより、利便性を向上させます。学生の皆さんが気軽に相談等に立ち寄れるオフィスとなることを目指しています。



B 2号館2階に移転・拡張 クリストア(売店)

クリストア(売店)を2号館2階に移転し、4月29日、リニューアルオープンしました。売場面積が広くなり、商品数は500アイテムから700アイテムに増えました。また、売店運業者とヤマザキYショップとの提携により、より学生のニーズに合った商品提供がなされていく予定です。セール等のイベントも月1回以上行う予定です。



C 2号館2階に拡張 学生ホール

毎年、在学生を対象に行っている満足度調査に「食堂(2号館1階学生ホール)の席数が少ない」との声が多く寄せられていたことを受け、2号館2階に新たに学生ホールを設けました。デザイン性にこだわったカラフルなベンチシートや窓際のカウンター席など合計80席を用意しました。ホールのすぐ隣にはクリストア(売店)やテラスもあります。食事スペースとして、また、忙しい実習や勉強の合間の憩いの場として活用されています。



2013年1月竣工

5号館

1階に移転・拡張 聖隷歴史資料館

2013年3月、これまで大学2号館2階に設けていた聖隷歴史資料館を新校舎5号館1階に移転・拡張しました。今回の移転にあたっては、聖隷グループ各法人の代表者にお集まりいただき、次の3点を大切に展示内容・方法の見直しを行いました。

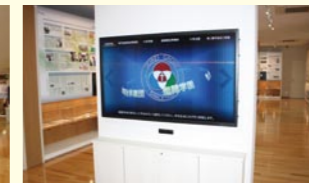
- 1 聖隷は多くの方々の支えによって現在があることにスポットをあてること
- 2 聖隷の源流にふれる歴史ゾーンと聖隷グループゾーンとを連動して展開すること
- 3 『観て、感じる』を体感できる最新の映像機能を活用すること



①聖隷の精神「隣人愛」
(ペトロの足を洗うキリスト)



②聖隷の歴史ゾーン



③聖隷のターニングポイント



④聖隷グループゾーン

入口には、①聖隷の精神「隣人愛」を「ペトロの足を洗うキリスト」の絵で象徴的に示しています。②聖隷の歴史ゾーンでは、聖隷の歩みを聖隷社創業から聖隷グループ各法人の誕生までを4つの時代区分で紹介しています。③聖隷のターニングポイントでは、各法人が現在に至る過程において、転機となった働き・出来事を知っていただけます。④聖隷グループゾーンでは、法人ごとの歴史・働きを展示しています。

資料館は平日午前10時から午後5時まで開館しており、どなたでもご自由にご覧いただけます。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

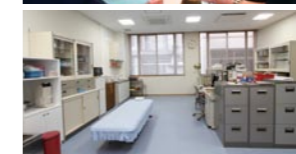
D 1階に移転・拡張 健康管理センター／学生相談室

健康管理センターと学生相談室は新校舎5号館1階に移転・拡張しました。

健康管理センターは、学生の皆さんの健康の保持・増進をサポートする施設です。毎年5～6月は健康管理センターで定期健康診断の結果配布と説明を行っています。学生の皆さんは、自分の健診結果を見て真剣に説明を聞いています。



健康管理センター



学生相談室
(カウンセリングルーム)

学生相談室は、学生生活における様々な悩み・問題について一緒に考える場所です。対人関係のこと、家族のこと、将来のこと、自分の性格のこと、また、眠れない等、何でも構いません。相談スタッフは、カウンセラー【斎藤(水曜日)・西岡(金曜日)】と相談員3名【鈴木(月・水・金)・倉野(火)・跡見(木)】です。学生の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、お気軽にご利用ください。

電話 053-436-3016 (健康管理センター・学生相談室共通)

E-mail 健康管理センター health-center@seirei.ac.jp
学生相談室 soudanrm@seirei.ac.jp

E 2階に新設 学生ラウンジ

2号館2階に拡張した学生ホールのほか、新校舎5号館にも合計50席を有する「学生ラウンジ」を新設しました。学生の皆さんがリラックスして利用できるようドーナツ型のユニークなソファやボックス席等を配置しました。手洗い場や自動販売機、給湯設備等も完備しており、ランチタイムに使用することもできます。また図書館のすぐ隣なので、読書や学習をする等、様々な用途で活用されています。



新校舎5号館
2階・3階に移転・拡張
図書館

新しい図書館の完成に寄せて

図書館長 平野 美津子 (リハビリテーション学部 教授)

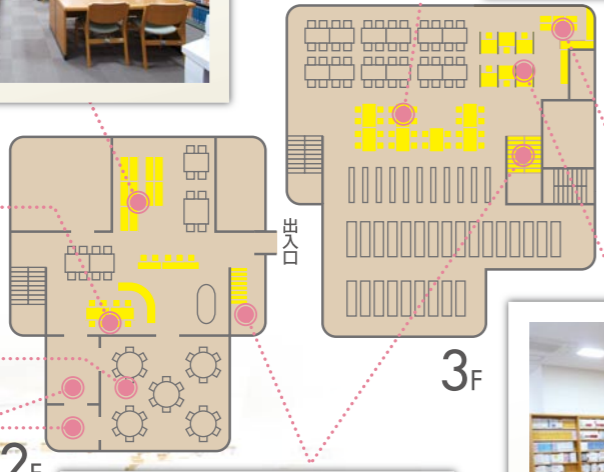


大学における学修は、授業を単に受動的に受けるのではなく、学生自らが、より自発的に学び、さらに実践を重ねていく必要性が重視されます。大学図書館も、単に書籍を蓄積するだけでなく、学生の学びを支援する「場」の提供や、図書館職員や図書館補助者による学習支援が期待されています。また、紙媒体の情報だけでなく、電子ジャーナルをはじめとした電子情報資源へのアクセスができるようにすることも大学図書館の使命です。大学図書館へのこのような要望をかなえるべく、図書館が5号館に移設されました。

書架は、以前の図書館の1.5倍に容量が増えました。ラーニングcommonsも作られ、学生が互いに学び合う「場」を提供しています。在学生や大学院生による図書館

サポーターも配置し、学生の学びを支援しています。レポートの書き方、資料の探し方、あるいは授業で困っていること等を、声をかけて、相談してみてください。一人静かに資料を読む学習も、もちろん大切ですが、友達と話し合いながら学習していくスタイルもあります。図書館が学生の皆さんのさまざまな学びを応援します。

また、本学の図書館は卒業生をはじめ聖隷関係の職員や入所者、地域の保健医療福祉の専門職の方々にも積極的に利用していただいています。地域の保健医療福祉の発展にも貢献できるように願っています。



◆ラーニングcommons

「ラーニングcommons」、聞きなれない名称ですが、「学生が共に学ぶための学習室」とでも言いましょうか。静かな図書館の閲覧室とは異なり、仲間とディスカッションしながら共に課題に取り組む、学ぶ、何かを作り上げていくという場です。図書館内にあるので、貸し出し手続きをせずに書籍や雑誌等の図書館資料を持ち込み、活用することができます。

授業、ゼミ等で使う場合は、commons内で先生の指導があり、そのほか教職員によるパソコンや文献検索等、学習支援のためのミニ講習会の場にもなります。食べ物は持ち込めませんが、ふた付きの容器であれば飲み物持参でリラックスして学習することもできます。貸し出しパソコン、プロジェクター等の機器も揃えています。意欲的に、自主的に学習に取り組む場として大いに利用してください。



◆グループ学習室



「グループで学習できる部屋が少ない」との声に応じて、ラーニングcommonsの隣にグループ学習室2室を新設しました。5～10人くらいのグループでの利用に適した部屋です。予約制を原則としていますが、利用者のない時は、ラーニングcommonsと同様に利用することができます。

さらに、学生の皆さんが図書館の資料を活用しつつ、プレゼンテーションやディスカッションに慣れ、今後、卒業生や地域の専門職の方々との交流の場としても活用されるようになれば、在学中から保健医療福祉のインタープロフェッショナルワークを意識した、アクティブな学習室としての役割を果たすことになります。

シリーズ 聖書のことば「長谷川保と聖書」

「明るく日、モーセが掟の幕屋に入って行き、見ると、レビの家のアロンの杖が芽を吹き、つぼみを付け、花を咲かせ、アーモンドの実を結んでいた。」(民数記17章23節)



長谷川保先生が愛用した聖書には、余白を埋め尽くす書き込みがある

新緑の中、キャンパスマップを見ながら学内を散策する。駐車場、教会、新校舎5号館。ここでは聖隷歴史資料館が来館者を迎えてくれる。隣接する聖隷三方原病院。ドクターヘリの離発着音を聞く度に、地域医療に仕える業に心が熱くなる。様々な樹木が目に入る。温暖な気候からか楠が目を惹く。「山笑う」という季語を大きな楠が一本で見せてくれる。楠と言えば樟脳、その芳香からか、カンフル注射のカンフルは楠の木(a camphor tree)に語源があるとか。大きな楠の切り株を見つけた。何と、透けるような薄緑色の若枝が芽を出している。アロンの杖の出来事やヨハネ黙

示録22章16節の「わたしは、ダビデのひこばえ、その一族、輝く明けの明星である」という聖書の言葉が思い出された。

新しい年度の歩みが始まった。学生たちは使命感と目的意識をもって日々の学びに励んでいる。主イエスの愛が彼らの全身に行き届くように、主イエスが彼らの志をみそなわし、良き実を結ぶよう導いてくださるように、と祈る。

聖隷学園宗教学主任 永井 英司

就職支援

2012年度 就職状況



2012年度に本学の学部・専攻科を卒業・修了した学生は330名です。
 そのうち就職希望者は308名、就職率は100%に達しています。
 進学者数は看護学部の10名、そのうちの8名は本学助産学専攻科へ進学しています。
 今年も高い就職率を維持できたのは、就職活動における学生個々の努力はもちろんのこと、
 卒業生(先輩)がそれぞれの職場で高く評価されていることから、
 本学の学生に対しての期待の表れだと言えます。

2012年度就職状況	卒業(修了)者数	就職希望者数	就職者数	就職率(%)	就職者以外	
					進学	その他
看護学部	157	143	143	100	10	4
助産学専攻科	17	17	17	100	0	0
社会福祉学部	社会福祉専攻	42	41	41	100	1
	介護福祉専攻	14	12	12	100	2
	こども教育福祉学科	30	28	28	100	2
リハビリテーション学部	理学療法学科	30	29	29	100	1
	作業療法学科	28	27	27	100	1
	言語聴覚学科	12	10	10	100	2

(名)

就職支援の内容

就職支援は、各学部学科とも、1年次秋 semester の就職ガイダンスから開始します。この就職ガイダンスでは、日々の授業・実習を大切にすること、応募から内定、採用までの就職活動のスケジュールの説明を行います。

1・2年次では、将来の目標について考える支援をしています。具体的には、看護学部、リハビリテーション学部では基礎演習、社会福祉学部ではフレッシュマンセミナーの授業でキャリアデザインについて学びます。

3・4年次では、先輩の就職活動体験を聞く就職活動報告会、卒業生から直接話を聞く卒業生と在学生の懇談会、病院・施設の人事担当者をお招きして学内で行う病院・施設説明会を開催し、志望先について理解を深める機会とします。これらの就職行事は、1・2年次生も参加することができます。専門職としてのキャ

リア形成を図るために、本学では地域で活躍する専門職者の方による講演会を開催し、専門職としての働き方について理解を深めます。また、キャリアデザイン講座を開設し、自己理解、就職活動における実践的なスキルを高めていきます。

加えて、エントリーシート・履歴書の添削、模擬面接等、個別の就職支援プログラムを実施しています。希望する学生は、納得するまでエントリーシート・履歴書の添削、模擬面接を受けることができます。求人情報は就職センターで閲覧できるほか、ホームページ、Eメール、facebookでもご覧いただけます。

就職センターでは、保護者の皆様の就職に関するお問い合わせにもお答えしていますので、お気軽にご連絡ください。

就職センター TEL 053-436-7233

1

就職活動報告会

各学部で4年次生が後輩たちに就職・進学活動についての体験を話します。どのような就職・進学活動を行ったのか、その実際を聞くことにより、在学生在が就職活動を実感し、意識を高める場になっています。



2

卒業生と在学生の懇談会

就職活動を開始する3年次生を対象に、将来の目標の確立、大卒で自分の進路を決めることを目標にしています。学生が様々な進路(就職)について具体的なイメージを持ち、行動へと踏み出せるよう、実際に保健医療福祉施設で活躍している本学卒業生に話を聞きます。



3

病院・施設説明会の学内開催

学生が保健医療福祉施設の採用担当者の方と直接話をすることにより、学生の就職活動への動機付けと応募先検討の機会としています。また、学生の確実な就職を実現するため、参加した保健医療福祉施設との関係を強くすることも目的のひとつとしています。就職活動が本格的に始まる前に、ということから、看護学部と社会福祉学部は4年次の4月、リハビリテーション学部は4年次の8月に行っています。



4

養護教諭希望者への支援

看護学部養護教諭希望者に、2年次から養護教諭採用試験対策講座を開催しています。教員による実技指導や教職教養・専門教養の指導のほか、養護教諭実習前の事前学習として、併設校の聖隷クリストファー中・高等学校で行う「1日保健室体験」を実施したり、教員が同行して公立小学校へボランティア(就学時健康診断、保健体育の授業、運動会の補助等)に行き、養護教諭の現場での体験をしています。

また、教員採用模擬試験や模擬面接(個人・集団)、志願票の添削を行い、就職活動を支援しています。



小学校でのボランティアの様子

2013年度 新入生オリエンテーション・ 新入生セミナーを開催しました

毎年4月に新入生オリエンテーション・新入生セミナーを開催しています。今年度は4月2日に大学生活や履修に関する説明会を実施し、3日に防災訓練、教員と演劇部の寸劇による薬物使用防止講習会と学生相談室の利用に関する講習会、交通安全講習会等を実施しました。

新入生セミナーは、上級生の企画により運営されます。4月2日には、上級生によるキャンパスツアーや学生ホールでの相談会を行いました。5日は、運動会、レクリエーション、パフォーマンス等を通して新入生の皆さんと各学部の上級生と教員が一つとなって交流を深めました。



4月5日、新入生セミナーでの運動会(左)や上級生によるパフォーマンス(右)の様子。本誌の表紙にも当日の写真を掲載しています。

4月3日、 全学防災訓練を実施しました

近い将来発生することが懸念されている東海地震に備え、毎年4月に全学生・教職員対象の防災訓練を実施しています。

今年度は、まず、全学年にて講義形式の防災オリエンテーションを行い、「地震発生時の避難方針や基本行動」、「避難器具や消火器具」、「安否情報システムANPICへ

の登録方法」等について確認を行いました。

その後、突発的に震度6強の大地震が発生したとの想定のもと、避難行動のシミュレーションを行い、有事の際にどのように行動するかについて学びました。学生の皆さんはみな緊張感を持って真剣に取り組んでいました。



防災オリエンテーションの様子

大学院看護学研究科

専門看護師教育課程認定審査において、 「クリティカルケア看護分野」と 「小児看護分野」の認定を受けました

2012年度に日本看護系大学協議会に申請した専門看護師教育課程認定審査(26単位申請)において、新たに2つの分野が認定され、本学で認定された専門看護師教育課程は4分野となりました。「がん看護分野」、「慢性看護分野」、「小児看護分野」の専門看護師養成を行っているのは、静岡県では本学のみです。

専門看護師とは、特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有し、課程を認定された研究科での学修を経て、日本看護協会の専門看護師認定審査に合格した看護師です。本学ではこれまで「がん看護分野」17名、「慢性看護分野」1名、「クリティカルケア看護分野」1名、「小児看護分野」2名の修了生を送り出しました。

今回認定された分野

クリティカルケア看護分野
認定日:2012年12月9日
有効期間:2011年4月~2021年3月

小児看護分野
認定日:2012年12月9日
有効期間:2011年4月~2021年3月

既に認定されている分野

がん看護分野
認定日:2007年1月14日
有効期間:2005年4月~2015年3月

慢性看護分野
認定日:2011年11月5日
有効期間:2010年4月~2020年3月

安否情報システム「ANPIC」の導入について

本学では今年度より、安否情報システム「ANPIC」の導入を開始しました。このシステムはサーバーが米国にあり、日本国内での震災の影響を受けにくい等、優れた最新の機能を有しています。

「全国各地で震度6弱以上」の大地震が発生した場合、本学に在籍している全学生・教職員には、自動的に安否確認メールが配信されます。このメールに添付されているURLをクリックし、「安否状況」、「現在地」を入力し送信するだけで簡単に安否を報告することが可能です。

保護者の皆様は学生と同じログインID(学籍番号)、パスワード(任意)を使用して、携帯電話やPCから「ANPIC」へログインし、本学の学生・教職員の安否情報を検索して閲覧することができます。

ぜひ、学生とパスワードを共有して操作方法を確認しておいてください。

※操作方法是
キャンパスライフp41~p46に
掲載しています。

「ANPIC」ログイン画面 ▶ <https://anpic1.jecc.jp/seirei/>



保健福祉実践開発研究センター

2013年度 公開講座のご案内

主に一般の方向けの講座を「市民公開講座」、主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」として開催しています。詳細は大学ホームページに順次掲載します。インターネットまたはFAXでお申し込みください。多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

市民公開講座 ①発達障がいに関する講座

終了
しました

日時	2013年6月15日(土) 13:30~15:30
テーマ	発達障がいの特性の理解と支援
講師	和久田 学 氏 (子どもの発達科学研究所 浜松オフィス所長、大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 特任講師)
対象	発達障がいに関心のある一般市民の方、 専門職の方等
場所	聖隷クリストファー大学

市民公開講座 ②高齢者に関する講座

日時	2013年11月11日(月)・11月18日(月)・ 11月25日(月) 19:00~20:30(予定) 全3回(1回のみ参加でも結構です)
テーマ	“健康で長生き”のための生活術
講師	本学社会福祉学部介護福祉学科 教授 中村京子、准教授 野田由佳里、講師 杉山せつ子
対象	健康長寿・介護等に関心のある一般市民の方
定員	各回50名程度
場所	聖隷クリストファー大学

参加申込みに関する問い合わせ先 聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

申込
方法

●インターネット

URL <http://www.seirei.ac.jp/>
大学ホームページ ⇒ 保健福祉実践開発研究センター
⇒ 公開講座
画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

●FAX 053-439-1406

氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・職業
(勤務先)・申込講座名をお知らせください。FAX用紙
は大学ホームページからダウンロードできます。
※申込開始は講座開催日の約2ヶ月前からです。

公開セミナー ①リーダーシップに関する講座

日時	2013年7月20日(土) 13:30~15:30
テーマ	介護事業におけるリーダーシップ ~何のために、何を目標して~
講師	高橋 義孝 氏 (株式会社ケアオリティ 代表取締役社長、 社会福祉士、介護支援専門員)
対象	保健・医療・福祉の専門職の方、 職場でのリーダーシップに関心のある方
定員	200名
場所	聖隷クリストファー大学

公開セミナー ②IPW(専門職連携)に関する講座 ワークショップ

日時	2013年12月14日(土) 13:30~16:30
テーマ	多職種で考える困難事例(仮)
講師	遠藤 英俊 氏 (国立長寿医療研究センター内科総合診療部長)
対象	主に保健・医療・福祉の専門職の方
定員	100名(予定)
場所	聖隷クリストファー大学

新任教員紹介!

1 出身校 2 前任校・前勤務先 3 専門分野

本年度に着任した
新任教員10名を
紹介します!



永井 英司 教授・宗教主任
ナガイ エイジ

社会福祉学部 介護福祉学科

- 1 東京神学大学大学院神学研究科博士課程前期課程
 - 2 東北学院中学校・高等学校
 - 3 聖書学(旧約聖書神学)
- キリスト教を基盤とした本学で学問をなし、社会貢献をしていく学生たちの心に、イエス・キリストの教えを種まきし、常に感謝と喜びの日々を過ごせるよう、共に学び合っていきたいと思ひます。



中村 京子 教授
ナカムラ キョウコ

社会福祉学部 介護福祉学科

- 1 佐賀大学大学院医学系研究科修士課程
 - 2 福岡医療福祉大学
 - 3 人間社会福祉学部介護福祉コース
- 介護福祉学、こころとからだ、介護過程、医療的ケア
- 看護師・保健師で現場経験後は教員を天職とし、看護師養成、介護福祉士養成と学生と共に歩いた21年の教員人生です。聖隷学園でも素直な学生さんとの出会いが楽しみです。



村上 武敏 助教
ムラカミ タケトシ

社会福祉学部 社会福祉学科

- 1 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修士課程
 - 2 小牧市民病院
 - 3 医療福祉論、社会福祉実践論
- これまで医療ソーシャルワーカーとして、傷病に苦しむ患者さんの医療と生活が保障されるよう奮闘してまいりました。これからも当事者に寄り添う実践を、教育と研究において続けていく所存です。



宇城 令 准教授
ウシロ レイ

看護学部(基礎看護学)

- 1 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程
 - 2 自治医科大学看護学部
 - 3 基礎看護学、看護管理学、医療安全
- 大学の教育方針に基づき、学生への教育支援に全力を尽くす所存です。皆様方のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



若杉 早苗 助教
ワカサギ サナエ

看護学部(公衆衛生看護学)

- 1 聖隷クリストファー看護大学看護学部、聖隷学園浜松衛生短期大学助産学専攻科、静岡県立大学大学院看護学研究科修士課程
 - 2 牧之原市役所
 - 3 公衆衛生看護学
- 長年実践してきた保健師活動の面白さについて、学生の皆さんにたくさん伝えていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



藤田 美枝子 教授・学科長
フジタ ミエコ

社会福祉学部 社会福祉学科

- 1 吉備国際大学大学院臨床心理学研究科博士後期課程
 - 2 静岡産業大学
 - 3 子ども家庭福祉、臨床心理学
- 学生とのやりとりを大切にしながら授業を進めていきたいです。「嬉しい」「楽しい」、そして「感謝」の3つの言葉を忘れないように心がけています。



佐々木 正和 助教
ササキ マサカズ

社会福祉学部 社会福祉学科

- 1 同朋大学大学院人間福祉研究科修士課程
 - 2 あいち福祉医療専門学校
 - 3 精神保健福祉学
- 学生の皆さんと一緒に社会福祉を学んでいきたいと思ひます。そして、その学びを糧にして成長していきたいです。日々の勉強と実践は大変ですがお互い頑張っていましょう。



有菌 信一 准教授
アリハラ シンイチ

リハビリテーション学部 理学療法学科

- 1 長崎大学、群馬大学大学院医学系研究科修士課程
 - 2 公立陶生病院
 - 3 呼吸リハビリテーション、心臓リハビリテーション
- 専門は呼吸器と循環器のリハビリテーションです。少しでも学生に臨床の面白さを伝えることができればと思ひます。よろしくお願いいたします。



樺澤 三奈子 准教授
カバサワ ミナコ

看護学部(成人看護学)

- 1 千葉大学看護学部、千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程、聖隷クリストファー大学大学院博士後期課程保健科学研究科
 - 2 関西国際大学人間科学部人間心理学科
 - 3 がん看護学
- がんとともに生きる人々のしなやかなたくましさに魅せられ十数年、健康の回復・増進を支援したいと願ひ、日々奔走しています。がん看護の喜びを皆さんと共有したいです。



佐久間 佐織 助教
サクマ サオリ

看護学部(基礎看護学)

- 1 愛知教育大学大学院教育学研究科修士課程
 - 2 愛知きわみ看護短期大学
 - 3 基礎看護学
- 人生は片道切符。戻ることはできません。よく学び、よく遊び…学生時代にしかできないことを思いっきりしてください。看護の面白さ、奥深さを共に学んでいきましょう。

聖隷クリストファー大学後援会 2012年度決算・2013年度予算

2013年4月4日(木)に2013年度後援会総会が開催され、下記のとおり2012年度決算および2013年度予算が承認されました。2013年度は、下記の3点について重点的に予算を編成しました。

- 1 学生の憩いの場づくりのため、2号館2階の学生ホールの整備に重点を置きます。
- 2 保護者満足度調査でも要望の高い国家試験対策費用の補助に重点的に配分します。
- 3 キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続して実施します。

		(単位:円)	
科目	項目	2012年度決算	2013年度予算
収入の部	入会金・会費	3,552,500	3,502,500
	入会金	27,280,000	28,180,000
	会費	4,980	20,000
	預金利息	5,838,078	7,722,999
利息	預金利息		
前年度繰越金		36,675,558	39,425,499
収入の部合計		36,675,558	39,425,499
支出の部	新入生セミナー援助	848,280	1,050,000
	実習交通費宿泊費等の補助(看護学部)	1,499,969	1,500,000
	実習宿泊費補助(リハビリテーション学部)	1,400,000	1,600,000
	学外学会等参加費補助(助産学専攻科)	49,980	50,000
	国家試験対策講座等に係る費用の補助	2,666,431	3,300,000
	学生相談室の運営に係る費用の補助	4,238,243	4,500,000
	健康診断に係る費用の補助	4,575,769	3,733,000
	健康管理センターの充実補助	99,556	300,000
	学生の自主活動に係る費用の補助	1,765,022	1,800,000
	学生食堂運営費、売店運営費の補助	3,715,332	4,300,000
	防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	169,600	170,000
	卒業記念品贈呈および卒業パーティ開催費	2,846,447	2,957,900
	学生用コピー機、印刷機費用の補助	899,210	2,000,000
	防災用備蓄品の購入補助	596,106	1,050,000
	会員情報提供費	1,276,725	1,500,000
	保護者懇談会の開催	708,460	1,000,000
	施設設備費	968,419	1,000,000
	学生福利厚生設備の充実費用	84,498	116,000
	学生駐車場防犯カメラリース料、大学周辺の防犯灯維持費	295,100	3,000,000
	学生ホール(売店移設含む)備品の購入経費	50,000	50,000
	慶弔費	127,057	150,000
	保護者満足度調査経費(郵送費)	36,455	60,000
	会費納付書等印刷費、郵送費	35,900	50,000
役員会(年3~4回)	0	4,188,599	
予備費	0	0	
次年度繰越金	7,722,999	0	
支出の部合計		36,675,558	39,425,499

2013年度 後援会役員

- 会長 空屋 昌子
副会長 牧野 分美
理事 袴田 和代
鮫島 道和(大学学生部長)
相原 正浩 柏原 栄作
鈴木 由美子 大谷 雅弘
釘持 尚 神原 理砂
幹事 鈴木 聡(大学総務部長)
高木 広幸
(大学学生サービスセンター長)
会計監査 藪谷 淳 芦澤 信之

2012年度の 重点課題への対応

2012年度は特に、下記2点を重点課題に挙げ対応しました。

- 1) 2011年3月11日の東日本大震災を教訓に、乾パンおよび飲料水等の備蓄を充実させます。
⇒乾パン(100g)および飲料水(1500ml)を1,440個ずつ用意し、防災庫に備蓄しました。
- 2) キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続して実施します。
⇒在学生満足度調査にて設置の要望の出ている第一駐車場および第二駐車場に増設しました。

保護者の皆様へお知らせ

「2012年度保護者満足度調査結果報告書」を本誌に同封してお送りいたしました

2012年度保護者満足度調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきました多くのご質問・ご要望に対し、すべてではございませんが本学からの回答を掲載しております。ぜひご一読いただけますようお願いいたします。

また、在学生を対象に実施した「在学生満足度調査」につきましても、在学生より寄せられた多くの意見等に対し分析、改善策を検討いたしました。在学生に向けましては6月より学内において回答を掲示しております。

今後よりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2013年度保護者懇談会開催のお知らせ

2013年度保護者懇談会を下記の日程で開催いたします。保護者懇談会は、保護者の皆様に大学にお越しいただき、教育環境や教育の現状等についてお話を聞いていただくほか、お子さんの学業や学生生活、就職、健康面等について教職員と直接お話いただけるプログラムとなっています。詳細が決定次第、ご案内状をお送りいたしますのでこの機会にぜひご来学いただければ幸いです。

学部	日程
社会福祉学部	2013年 7月 6日(土)
リハビリテーション学部	2013年10月12日(土)
看護学部	2013年10月26日(土)

学校法人 聖隷学園

2012年度決算における財務状況の概要

1 法人全体として、中長期経営計画に基づいて事業が進められており、財務状況も2012年度学園全体の収支(帰属収支差額※)がプラス7.5%と中長期財務計画を上回って改善しています。

2 2012年度末において、総資産135億2700万円に対し有利子負債が26億3300万円となりました。5号館建設に伴う借入により負債が増加したものの、総資産の64%は自己資金で賄われており、財務の安定性には十分な余力があります。

3 大学の収支は安定した状況を継続しています。中・高等学校およびこども園においても中長期経営計画に沿った運営がなされており、収支も改善に向かっていきます。

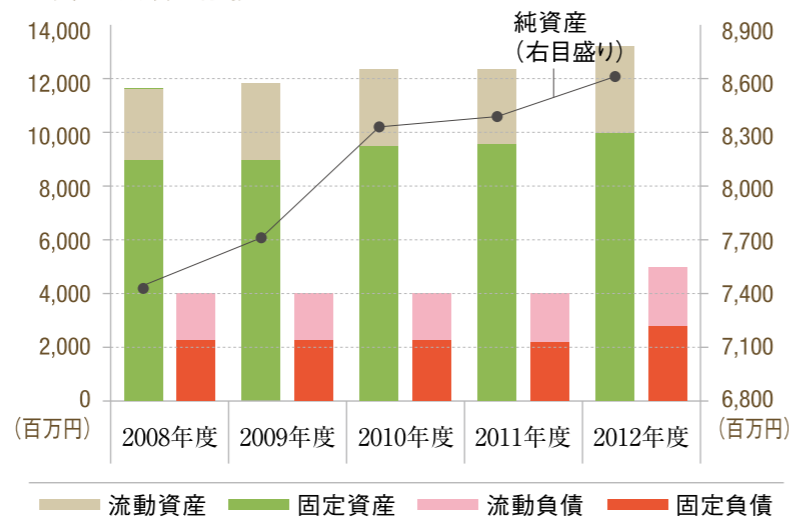
2012年度 消費収支計算書

(千円)

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	2,479,495	人件費	2,165,886
手数料	65,500	教育研究経費	740,902
寄付金	41,564	管理経費	229,590
補助金	699,186	借入金等利息	40,013
資産運用収入	12,834	資産処分差額	7,983
事業収入	28,598		
雑収入	116,958		
帰属収入合計①	3,444,135		
基本金組入額	△296,908		
消費収入の部合計	3,147,227	消費支出の部合計②	3,184,374

※帰属収支差額(①-②)・・・損益計算書の当期利益にあたります。

資産・負債の推移



詳しくは学園ホームページ(<http://www.seirei.ac.jp/gakuen/>)の学園の組織とビジョン⇒財務状況をご覧ください。

聖隷クリストファー中・高等学校

聖隷プロジェクト(高大連携)

聖隷プロジェクト委員長 柴山 雅美

聖隷プロジェクトは、看護・福祉・リハビリの分野に興味のある生徒に対して、早い段階から各専門分野に関するイメージを具体化し、将来の進路選択の一助とすることを目的として始めました。初年度の登録者は57名でしたが、年々登録者数が増加し、8年目となる今年度は122名が登録を完了しています。登録者数の増加は、看護・福祉・リハビリに対する関心の高さや保護者の皆様の聖隷学園に対する期待の大きさだと捉え、今年度も8回の講義を予定しています。

特に、大学の先生方には、毎年、高校生のために工夫した授業をしていただいております。昨年度の感想の中には、「大学で多くの勉強量をこなすためにも、受験で合格できるためにも、今のうちから毎日勉強する癖をつけなければならないと思った」、「大学生は叶えたい夢があるから続けられる

んだと感じた」、「看護師も医師も命に関わる仕事で責任重大だと感じた」、「人の考えと自分の考えは違って、それぞれいろいろな考え方がある中で他者を思って仕事をしなければならないと思った」、「福祉も看護も普通の人の生活もすべて通じるところがあったのでとても勉強になった」、「ドラマチックなよい結果がすべての患者さんたちに得られないかもしれないけど、そんな時に他で補える方法を教えることができる理学療法士や作業療法士の姿はカッコいいと思った」等があり、生徒たちの進路意識の高まりを感じられました。



レンゲ草に囲まれて

聖隷クリストファー中・高等学校の学校農場の一角にこども園農場があり、労作の時間を中心として中高生との交流の場となっています。

一昨年度、中・高等学校の労作科はこども園農場のれんげ草栽培に初挑戦し、見事に失敗してしまいました。原因を追究し、試行錯誤した結果、今年は見事に開花し、園児たちのれんげ草摘みの絶好の場となりました。園児たちは歓声を上げ、もみじのような手で可憐なれんげ草を次々と摘んでいました。そして、農場がとても優しい空気に包まれました。また、こども園の先生方も幼少時にれんげ草を摘んだ記憶が蘇ったようで、いつにも

中・高こども園農場担当 寺田 博義

増して優しい表情をみせていました。

今後は初夏にサツマイモのつる植え作業と秋の収穫等、こども園農場を舞台として様々な活動が繰り広げられていく予定です。



里山体験

聖隷クリストファー大学附属



クリストファーこども園 総園長
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部
こども教育福祉学科長・教授

太田 雅子

戸外や自然の中でのダイナミックな体験活動ができるように計画を立て実践することを、今年度の事業計画の重点目標のひとつとして挙げています。里山を利用した自然体験活動を年間通して行うため、都田自然学校と提携をしました。「里の家」と呼ばれる民家を拠点に裏山と敷地内の畑で、森での遊び、栽培、野外調理等の体験をすることができます。

今年度第1回として4月23日、5歳児らいおん組が自然学校に出掛けました。山の頂上にある木立の中の遊び場にはハンモックや手作りのブランコが

取りつけられており、皆大はしゃぎ。枝をよじ登り高いところからの見晴らしを楽しむ子もいました。自分たちでヨモギを摘んで、デザートのようなヨモギ団子を作りました。大豆を石臼でひいて団子にまぶすきこ作りをしました。湯沸かしのために、かまどにくべるまきを斧で割る体験もしました。



こども教育福祉学科4年次生のプレ実習

4月8~30日、こども教育福祉学科4年次生は本格的な幼稚園実習を前に、こども園においてプレ実習を行いました。5名ずつのグループになって、全員が3歳児クラス(新入園児)を担当しました。初めて親と離れて過ごす子どもたちも多く、不安で泣いている子どもたちが安心して過ごせるように、好きな遊びを見つけられるようにと、学生たちは働きかけました。また、着替えの手伝いやトイレに連れていくこと等、一人ひとりと丁寧な関わりに努めました。この時期は、担任も手一杯で、学生に対して細かな

指示を出せないため、自分たちで状況判断をして動かなければなりません。子どもや先生たちの思いを汲み取り、率先してサポート的な行動を取るという現場での学びは、5月末からの本実習に役立つと思います。今年度初めての試みでしたが、こども園にとっても実習生の力は大きく、例年よりも早く、子どもたちは園生活に慣れ、クラスの雰囲気も落ち着いているように感じられます。



CAMPUS SCHEDULE

2013年度キャンパススケジュール(予定)

- 4月
 - 2日(火) 新入生オリエンテーション・在学生ガイダンス(5日まで)
 - 3日(水) 防災訓練・薬物使用防止講習会・交通安全講習会
 - 4日(木) 入学式
 - 8日(月) 春semester授業開始
 - 13日(土) 大学院オリエンテーション・ガイダンス
 - 29日(月) 授業日(昭和の日)
- 5月
 - 1日(水) 創立記念日
 - 2日(木) 昭和の日振替休日
 - 6日(月) こどもの日振替休日
- 6月(土) 社会福祉学部 保護者懇談会
- 15日(月) 授業日(海の日)
- 26日(金) 春semester授業終了
- 29日(月) 春semester定期試験(8月2日まで)
- 8月
 - 28日(水) 春semester追・再試験(30日まで)
- 9月
 - 25日(水) 春semester卒業式・修了式
 - 27日(金) 秋semester授業開始 ※秋semesterガイダンスは必要事項のみ時間割の中で行います。
- 10月
 - 12日(土) リハビリテーション学部 保護者懇談会
 - 14日(月) 授業日(体育の日)
 - 26日(土) 看護学部 保護者懇談会
- 11月
 - 1日(金) 1~3限は授業、4限以後聖灯祭等準備
 - 2日(土) 聖灯祭・ホームカミングデー
 - 4日(月) 授業日(文化の日振替休日)
- 12月
 - 18日(水) クリスマス礼拝
 - 24日(火) 冬期休業(1月5日まで)
- 1月
 - 27日(月) 秋semester授業終了
 - 28日(火) 秋semester定期試験(1月28~31日・2月3日)
- 2月
 - 24日(月) 秋semester追・再試験(26日まで)
- 3月
 - 10日(月) 卒業式・修了式、卒業パーティ

保護者懇談会は詳細が決まり次第、ご案内状をお送りいたします。

学生数

看護学部 看護学科	1年次生 152(14)	計627(65)
	2年次生 160(15)	
	3年次生 148(16)	
	4年次生 167(20)	
助産学専攻科	17(0)	計 17(0)
看護学研究科	博士前期課程[修士課程]	計 33(2)
	1年次生 5(1)	
	2年次生 7(0)	
	博士後期課程	
	1年次生 7(0)	計 39(30)
	2年次生 5(0)	
	3年次生 9(1)	
リハビリテーション科学研究科	博士前期課程[修士課程]	計 18(6)
	1年次生 13(9)	
	2年次生 8(5)	
	博士後期課程	
	1年次生 2(0)	計 17(4)
	2年次生 2(0)	
	3年次生 4(1)	
社会福祉学専攻科	博士前期課程[修士課程]	計 18(6)
	1年次生 2(1)	
	2年次生 8(4)	
	博士後期課程	
	1年次生 2(0)	計 17(4)
	2年次生 2(0)	
	3年次生 4(1)	
社会福祉学専攻科	博士前期課程[修士課程]	計 18(6)
	1年次生 2(1)	
	2年次生 8(4)	
	博士後期課程	
	1年次生 2(0)	計 17(4)
	2年次生 2(0)	
	3年次生 4(1)	
保健科学研究科	博士後期課程	計 17(4)
	3年次生 17(4)	
看護学部	1年次生 152(14)	計627(65)
	2年次生 160(15)	
	3年次生 148(16)	
	4年次生 167(20)	
助産学専攻科	17(0)	計 17(0)
看護学研究科	博士前期課程[修士課程]	計 33(2)
	1年次生 5(1)	
	2年次生 7(0)	
	博士後期課程	
	1年次生 7(0)	計 39(30)
	2年次生 5(0)	
	3年次生 9(1)	
リハビリテーション科学研究科	博士前期課程[修士課程]	計 18(6)
	1年次生 13(9)	
	2年次生 8(5)	
	博士後期課程	
	1年次生 2(0)	計 17(4)
	2年次生 2(0)	
	3年次生 4(1)	
社会福祉学専攻科	博士前期課程[修士課程]	計 18(6)
	1年次生 2(1)	
	2年次生 8(4)	
	博士後期課程	
	1年次生 2(0)	計 17(4)
	2年次生 2(0)	
	3年次生 4(1)	
保健科学研究科	博士後期課程	計 17(4)
	3年次生 17(4)	
看護学部	1年次生 152(14)	計627(65)
	2年次生 160(15)	
	3年次生 148(16)	
	4年次生 167(20)	
助産学専攻科	17(0)	計 17(0)
看護学研究科	博士前期課程[修士課程]	計 33(2)
	1年次生 5(1)	
	2年次生 7(0)	
	博士後期課程	
	1年次生 7(0)	計 39(30)
	2年次生 5(0)	
	3年次生 9(1)	
リハビリテーション科学研究科	博士前期課程[修士課程]	計 18(6)
	1年次生 13(9)	
	2年次生 8(5)	
	博士後期課程	
	1年次生 2(0)	計 17(4)
	2年次生 2(0)	
	3年次生 4(1)	
社会福祉学専攻科	博士前期課程[修士課程]	計 18(6)
	1年次生 2(1)	
	2年次生 8(4)	
	博士後期課程	
	1年次生 2(0)	計 17(4)
	2年次生 2(0)	
	3年次生 4(1)	
保健科学研究科	博士後期課程	計 17(4)
	3年次生 17(4)	

2013年に新たに就任した役職者	
宗 教 主 任	永井 英司 社会福祉学部教授
就 職 部 長	新宮 尚人 リハビリテーション学部教授
社会福祉学部	社会福祉学科長 藤田 美枝子 教授
	介護福祉学科長 横尾 恵美子 教授 (社会福祉学部長兼任)
リハビリテーション学部	学部長 大城 昌平 教授
	理学療法学科長 西田 裕介 教授
	言語聴覚学科長 小島 千枝子 教授

学報へのご意見・ご感想をお寄せください。
読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えております。
ご協力お願い申し上げます。

学報アンケート → <http://blg.seirei.ac.jp/d/> → 携帯からはこちら



連載 私の教育・研究

看護のパワーは無限大 ~Believe in Nursing Power!~

看護学部 教授 荒川 靖子



◆学歴:千葉大学大学院看護学研究科修士課程修了(看護学修士)
◆所属学会:日本看護科学学会、日本クリティカルケア看護学会、AACN(American Association of Critical-Care Nurses)他

Q1, 先生の学びのきっかけと専門分野について教えてください。

A, 高校卒業後の進路を考えていたときに、同級生から教育学部の中に高校の看護科の教員を養成するコースで看護師の免許もとれるコースがあると教えられたのが看護の道に入るきっかけでした。人生最初の進路選択が人様の言葉に影響されたものであったように、その後も周囲の人々の刺激とお誘いで様々な臨床と教育の現場を歩いてきました。どこにいても指導者や同僚に恵まれて何でもおもしろがってしまいがちながら今日に至っています。学生に尋ねられると、臨床経験は「小児科以外全部」、そして「その全部がおもしろかったよ」と答えます。今は、これまでの経験を活かして身体と心が危機に直面している患者さんと家族をケアする急性期看護を担当しています。

専門化が求められるようになってきています。このような社会の要請に応えるために近年では、臨床経験の上に大学院修士課程でのよりいっそうの学びを積み重ね、日本看護協会が実施する認定試験に合格した専門看護師の活躍が広がってきています。専門看護師が専門とする分野は11あります。本学ではこれまでに、「がん看護」と「慢性疾患看護」の修士生が聖隷浜松・三方原両病院をはじめとして活躍しています。2012年度には、「小児看護」、「急性・重症患者看護」のカリキュラムが専門看護師養成課程として日本看護系大学協議会から認可を得ました。今後は、老人看護分野等の専門看護師教育にも取り組んでいくことになると思います。臨床経験を経て、よりいっそう「私の看護」のステップアップを目指す卒業生のみなさんに是非関心を寄せていただきたいと思っています。

Q3, 関心のある研究領域について教えてください。

A, 「家族まるごとの看護」に関心を持っています。一人の人が病気や怪我で「患者さん」になったとき、一番の支えは家族です。一方で、家族の一人が病気や怪我を負ったとき、家族みんなが影響を受け支えを必要とする状況に陥ることもあります。臨床にいたある日ある時、「家族も大変だね」と実感した時から、「家族をまるごと看護してしまえ」をモットーに家族の反応やケアの方法を探求しています。また、急性期の教員チームでは、患者さんの変化が急激で短期間にさまざまな看護が要求されるために負担が大きいと言われている手術患者看護実習での学生の学びをサポートするために学生の学びの実態調査を行っています。

Q2, 大学院ではどのような学びができますか。

A, 博士前期課程、いわゆる修士課程では急性・重症患者看護の専門看護師を養成するコースを担当しています。医療が高度化・複雑化するにつれて看護師が提供する看護にも高度化、



看護学部4年次生: 実習前の学内での技術演習の様子。